



第15期中間報告書

平成29年4月1日▶平成29年9月30日

サクサ ホールディングス株式会社

証券コード 6675



代表取締役社長 松尾 直樹

株主の皆様には、平素よりサクサグループに対しまして、格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間のわが国の経済は、緩やかな回復基調で推移しましたが、中国経済の減速懸念と欧米における政治リスクやアジアにおける地政学的リスクの高まりなどにより、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中で、当企業グループは厳しい事業環境の変化に対応し、「持続成長可能な事業への転換」と「あるべき姿に向けた事業構造への変革」を基本方針とした中期経営計画(平成29年度から平成31年度までの3か年)を策定し、成長軌道への足がかりとする3か年をスタートさせ、その実現に向

けて取り組んでまいりました。

具体的には、集中事業として取り組んでいる映像事業に関する監視・防犯・マーケティングなどの分野で活用できる画像解析技術および各市場におけるIoTを実現するためのプラットフォームに関する研究開発を進めてまいりました。

また、中小規模オフィス向けUTM(統合脅威管理アプライアンス)をフルモデルチェンジし、セキュリティ機能をさらに強化した新製品の投入を予定しており、お客様のネットワークセキュリティに対するニーズの高まりにお応えしてまいります。

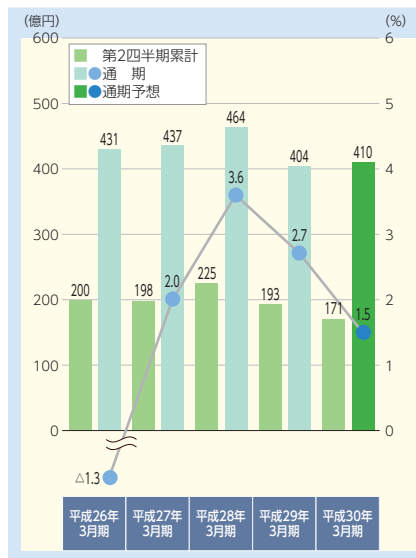
当第2四半期連結累計期間の売上高は、ネットワークセキュリティ製品の増加はありましたが、OEMキーテレホンシステムや特定顧客向けシステムインテグレーションおよびアミューズメント市場向けの製品の受注減少などにより170億6千7百万円(前年同期比11.6%減少)となりました。

利益面では、売上高の減少などにより、経常利益が1億6千2百万円(前年同期比63.7%減少)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、3千3百万円(前年同期比75.4%減少)となりました。

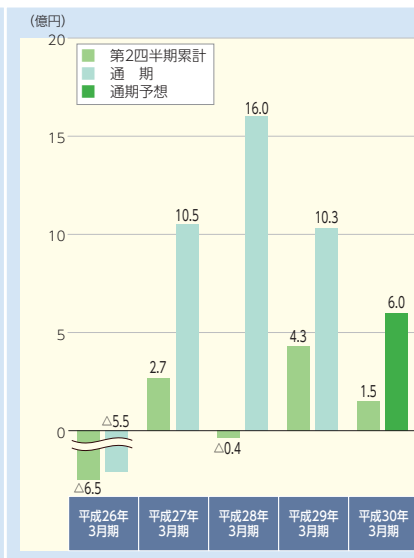
今後とも株主の皆様のご期待にお応えするため、なお一層の努力を重ねてまいる所存でございますので、引き続きご支援、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

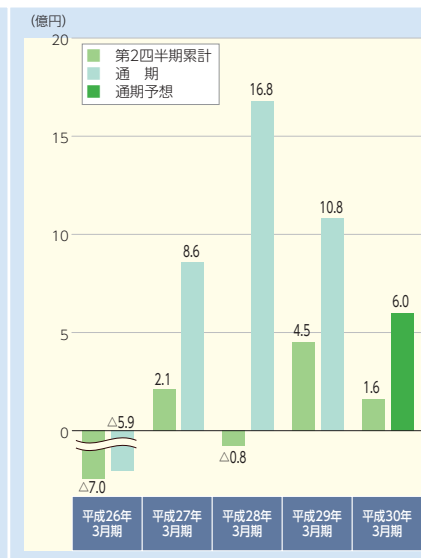
■売上高(左目盛) ●売上高経常利益率(右目盛)



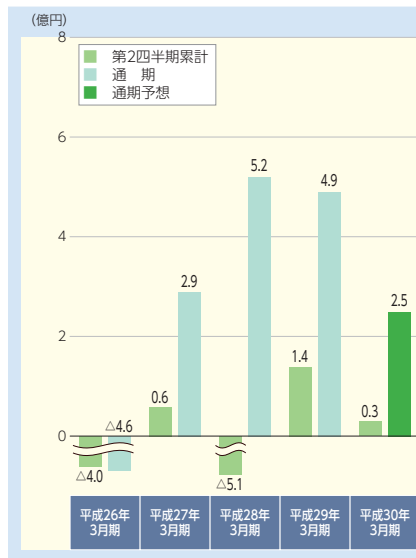
■営業利益



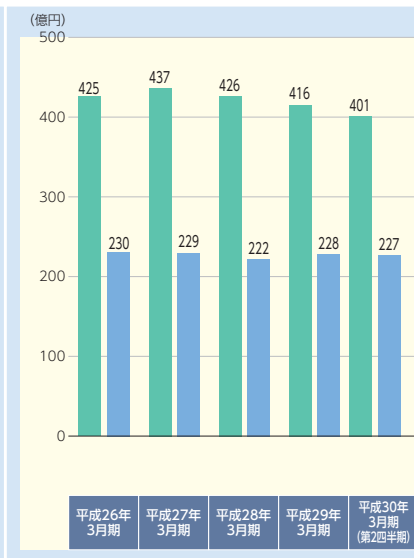
■経常利益



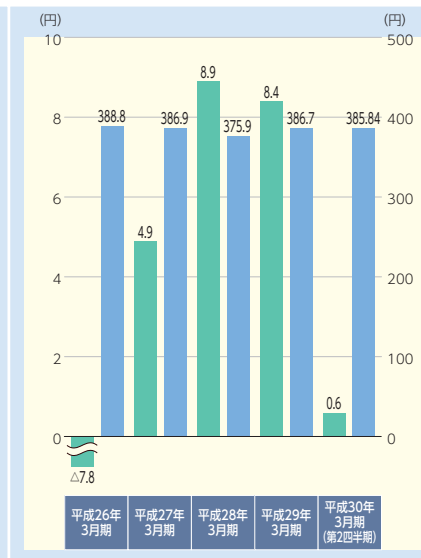
■親会社株主に帰属する当期純利益



■総資産 ■純資産



■1株当たり当期純利益(左目盛) ■1株当たり純資産(右目盛)



※ グラフの数値については、表示単位未満を四捨五入しております。

集中事業の拡大に向けた取組み

安心・安全なオフィス空間を実現するUTM「SS5000」シリーズを新発売!

～中小規模オフィスのセキュリティ環境を強化～

サクサ株式会社(以下「サクサ」という。)は、ネットワークセキュリティ製品である中小規模オフィス向けUTM(統合脅威管理アプライアンス)「SS3000」シリーズにラインアップを追加し、「SS5000」シリーズを12月1日から発売いたしました。



Office AGENT

サクサの「Office AGENT」シリーズは、サクサが情報システム部門のない中小規模オフィス向けにご提供する、オフィス運営代理人システムです。サクサのオフィスソリューション提供ノウハウを集結し、ネットワーク商材を連携させることで、お客様の「お困りごと」をスピーディに解決いたします。

「SS5000」シリーズは、日本市場に適した製品の提供をコンセプトに、セキュリティ脅威への対応強化に注力しており、特定のWebサイトへのアクセスを規制・制御することができるWebフィルタリングにおいて国内シェアNo.1*のアルプスシステム インテグレーション株式会社のURLデータベースを新たに採用いたしました。また、アンチウイルスエンジンに加え、スパムメールエンジンについても世界トップレベルであるエンジンを採用することで、これまで以上にセキュリティを強化いたしました。さらに、これまでの「メール添付ファイル自動暗号化機能」に加え、「メール誤送信防止機能」を追加することで、メールによる情報漏えい防止を強化しております。

「SS5000」シリーズのご提供を通じて、サクサは中小規模オフィスの安心、安全、快適、便利なセキュリティ環境の向上を目指してまいります。

※出典：IDC Japan株式会社「国内情報セキュリティ製品市場シェア、2016年：外部脅威対策および内部脅威対策(Report#JPJ41780817)」

新規事業の創生に向けた取組み 新価値創造展2017への出展

サクサグループは、平成29年度から平成31年度を計画期間とした中期経営計画で、新規事業の創生の一つとして「IoTおよびサービス」を活用した事業化に取り組んでおります。

その一環として、平成29年11月15日～17日にかけて、東京ビッグサイトで開催された「新価値創造展2017」に、さまざまなシーンでIoTソリューションに幅広く活用できる「Raspberry Pi」*ベースで開発した「IoTゲートウェイ」を参考出展し、IBM Watson IoTと連携するデモンストレーションを実施いたしました。

今後は、工場生産現場やオフィス、一般家庭などの環境において「IoTゲートウェイ」を通して集められたデータをクラウドに繋げ、これらを分析、解析し、各種ソフトウェアやサービスと連携することで柔軟でより浸透力のあるIoT環境の提供を目指してまいります。

※Raspberry Pi：ARMプロセッサを搭載したシングルボードコンピュータ
「Raspberry Pi」は英国Raspberry Pi財団の登録商標です。



新価値創造展2017の展示ブースの様子

四半期連結財務諸表(要約)

● 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前期末 (平成29年3月期)	当第2四半期末 (平成30年3月期)
(資産の部)		
流動資産	25,220	23,308
固定資産	16,405	16,771
有形固定資産	9,566	9,550
無形固定資産	2,452	2,527
投資その他の資産	4,387	4,693
繰延資産	3	1
資産合計	41,629	40,081
(負債の部)		
流動負債	11,201	10,450
固定負債	7,656	6,909
負債合計	18,858	17,360
(純資産の部)		
株主資本	21,957	21,698
資本金	10,836	10,836
資本剰余金	6,023	6,023
利益剰余金	6,341	6,083
自己株式	△1,243	△1,244
その他の包括利益累計額	642	848
非支配株主持分	170	174
純資産合計	22,770	22,721
負債純資産合計	41,629	40,081

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (平成29年3月期)	当第2四半期累計 (平成30年3月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,946	1,880
投資活動によるキャッシュ・フロー	△693	△1,187
財務活動によるキャッシュ・フロー	△875	△997
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	1
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	1,379	△303
現金及び現金同等物の期首残高	7,205	8,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,585	8,006

※P5に記載の数値については、表示単位未満を切り捨てております。

● 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (平成29年3月期)	当第2四半期累計 (平成30年3月期)
売上高	19,301	17,067
売上原価	14,523	12,481
売上総利益	4,778	4,586
販売費及び一般管理費	4,347	4,434
営業利益	431	152
営業外収益	107	95
営業外費用	91	85
経常利益	447	162
特別利益	0	0
特別損失	143	4
税金等調整前四半期純利益	304	157
法人税等	162	113
四半期純利益	142	44
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	136	33

● 四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (平成29年3月期)	当第2四半期累計 (平成30年3月期)
四半期純利益	142	44
その他の包括利益	△145	205
四半期包括利益	△3	249

■ 企業情報

● サクサ ホールディングス株式会社 (平成29年9月30日現在)

設立年月日 平成16年2月2日
資本金 10,836,678,400円
従業員数 1,121名(連結)
44名(単独)

本社 東京都港区白金一丁目17番3号 NBFプラチナタワー
事業内容 情報通信システムの機器および部品の開発、
製造および販売を主として行う子会社の経営管理等

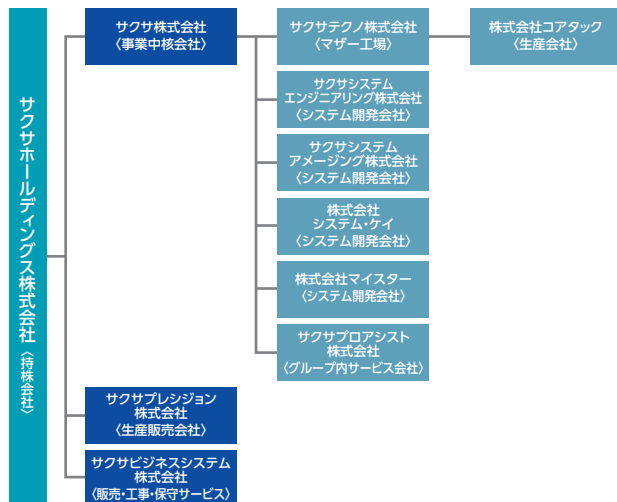
取締役および監査役

代表取締役社長 松尾 直樹	取締役 布施 雅嗣
常務取締役 磯野 文久	取締役 小口 喜美夫
常務取締役 大坂 貢	取締役 山本 秀男
取締役 木村 廣志	常勤監査役 江藤 進
取締役 中村 耕児	監査役 梅津 光男
取締役 井上 洋一	監査役 飯森 賢二
取締役 曾我部 敦	監査役 清水 建成

※1. 布施雅嗣、小口喜美夫および山本秀男の3氏は、社外取締役であります。また、小口喜美夫および山本秀男の両氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。

※2. 飯森賢二および清水建成の両氏は、社外監査役であります。また、両氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。

● サクサグループ(11社)



株式の状況

- 発行可能株式総数 240,000,000株
- 発行済株式の総数 62,449,621株
- 株主数 6,912名

大株主

株主名	持株数	持株比率
沖電気工業株式会社	8,060千株	13.8%
日本電気株式会社	2,360千株	4.0%
株式会社みずほ銀行	2,339千株	4.0%
株式会社三井住友銀行	1,767千株	3.0%
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,192千株	2.0%
株式会社三菱東京UFJ銀行	959千株	1.6%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	940千株	1.6%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	940千株	1.6%
サクサグループ従業員持株会	920千株	1.6%
みずほ信託銀行株式会社	900千株	1.5%

※1. 当社は、自己株式4,012千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

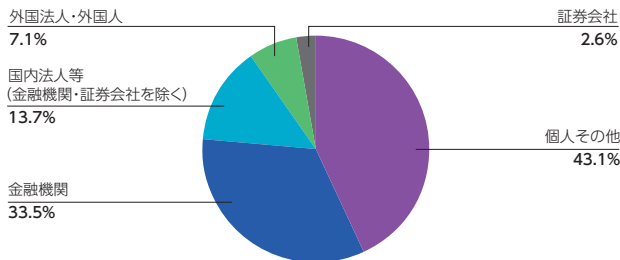
※2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。

※3. 沖電気工業株式会社の持株数には、沖電気工業株式会社が退職給付信託の信託財産として提出している当社株式6,059千株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 沖電気工業 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)

※4. 株式会社みずほ銀行の持株数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として提出している当社株式1,778千株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)

※5. 持株数については、表示単位未満を切り捨て、持株比率については、表示単位未満を四捨五入しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
期末配当の基準日	3月31日	
定時株主総会	6月	
基準日	3月31日 その他、必要があるときは、あらかじめ公告して定める日とします。	
公告掲載URL	http://www.saxa.co.jp/ ※ 当社の公告の方法は、電子公告としております。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部	
電話お問合せ先	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝祭日を除く 9:00~17:00)	
各種手続取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。 みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店	
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続取扱店をご利用ください。 特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。	

単元株式数の変更・株式併合に関するご案内

平成29年10月1日付で、当社普通株式について、

**1. 単元株式数の変更
(1,000株から100株に変更)**

**2. 株式併合
(10株を1株に併合)**

を実施いたしました。

詳細は、当社ホームページに掲載しております平成29年5月19日付「単元株式数の変更、株式の併合および定款の一部変更ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

